

令和元年度第4回全国健康保険協会秋田支部評議会議事録

開催日時：令和元年12月18日（水）13：30～15：00

開催場所：ルポールみずほ 2階 ふじの間

出席者：松渕評議員（議長）、佐々木（宏）評議員、佐野評議員、小林評議員、
佐々木（卓）評議員、舘岡評議員、栗盛評議員、近藤評議員（代表別・50音順）
中田支部長、山本部長、河上部長、佐藤グループ長、二田グループ長、安田グループ長
間杉グループ長、齊藤グループ長補佐、沼倉主任、高橋主任（記）

議事録署名人：舘岡評議員、栗盛評議員（代表別・50音順）

■ 議事事項

1. 令和元年度上期秋田支部事業実施状況について

■ 質疑応答、意見交換等

【学識経験者】

受動喫煙防止宣言施設登録制度に、秋田市が除かれている理由は把握しているのか。

【事務局】

これまで何度も協力依頼を行っているが、協力関係各所との調整が難しいなどという理由で、市町村の中で秋田市だけが受動喫煙防止宣言施設登録制度に参加できていないと県から聞いている。県の受動喫煙の条例が制定されて状況も変わってきていると考えられるため、県と連携しながら協力いただけるよう取組んでまいりたい。

【学識経験者】

健康経営宣言したら受動喫煙防止宣言施設に登録してもらおうというのが望ましい形であると感じる。

【事務局】

受動喫煙防止に関する事項を健康経営宣言の必須項目にしていらないが、宣言内容に当該事項を盛り込んでいる事業所には積極的に受動喫煙防止宣言施設登録制度の案内を行っている。また、今年度からスタートした秋田県版健康経営優良法人認定制度には、受動喫煙防止に関する事項が必須項目になっていることから、県と足並みをそろえながら受動喫煙防止宣言施設登録制度の登録数を増やしてまいりたい。

【学識経験者】

上期の事業として、特定健診のテレビCMや健康経営のテレビ番組を実施しているが、NHKに対するアプローチは何か行っているのか。

【事務局】

平成30年9月に秋田県商工会連合会と協定を締結した際、NHKのニュースに取り上げていただいたことがあり、今後もそのようなケースを増やしてまいりたい。

【学識経験者】

お薬手帳ホルダーのチラシに“すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではない”と注意書きが記載されているが、実際にジェネリック医薬品の無い医薬品はどのくらい存在しているのか。

【事務局】

正確な数値はすぐにお示しできないが、かなり多くの医薬品にジェネリック医薬品が存在していると記憶している。正確な数値は、後日お示ししたい。

【学識経験者】

柔道整復施術療養費の照会業務の強化に関して、「施術箇所 3 部位以上かつ月 15 日以上」という条件をつけているが、この条件は秋田支部だけなのか。また、この条件では対象者はかなり少ないのではないのか。

【事務局】

秋田支部だけではなく、全国統一の条件である。また、ご指摘の通り、対象者は多くはない。

■ 議事事項

2. 令和 2 年度秋田支部事業計画及び保険者機能強化予算（案）について

■ 質疑応答、意見交換等

【被保険者代表】

ジェネリック医薬品軽減額通知を年 2 回送付しているということだが、軽減見込額が極端に少ない方に対して通知を送らないように基準額は設けているのか。

【事務局】

軽減見込額が極端に少ない方に対して通知を送らないよう基準額を設けており、正確な数値は、送付コストや効果額等も含めて後日お示ししたい。なお、当該基準額は、対象者が減少しているなどの理由から、徐々に引き下げられている傾向がある。

【学識経験者】

資料 17 ページの「8-1 医療費データ等の分析」で、“意見発信のため分析を行う”とあるが、この“意見発信”とは何を意識しているのか。

【事務局】

協会けんぽで蓄積しているデータを活用して、地域医療構想の会議等の場で有益な提言やヒントにできるような意見発信を行うことを意識している。

【学識経験者】

資料 17 ページの「7 インセンティブ制度の着実な実施」とあるが、令和 2 年度にはインセンティブ制度は導入（実施）されているため、“着実な実施”という文言に違和感を感じる。また、内容についても、“周知広報を丁寧に行う”のではなく“評価項目に対する取組みを着実に実施する”というような文言になるのではないか。

【事務局】

文言については、貴重なご意見として承る。インセンティブ制度は、3 年間で段階的に導入されること、そして、加入者理解度調査等によると理解が十分に進んでいないという状況がある。そのため、引き続き周知広報に努めていく必要があり、このような文言にならざるを得ない部分があるということをご理解いただきたい。

【学識経験者】

「介護保険制度のインセンティブ交付金」や「(75 歳以上の後期高齢者を対象に行う) フレイル健診」が話題になっているが、協会けんぽに何か影響はあるのか。

【事務局】

運営主体が自治体などであるため、協会けんぽに直接的な影響はないと考えている。

■ 議事事項

3. インセンティブ制度にかかる平成 30 年度実績（確定値）について

■ 質疑応答、意見交換等

【学識経験者】

秋田支部は、令和 2 年度健康保険料率でインセンティブ制度の恩恵を受けられる支部の中に入ることができたが、数値を見るとそれほど保険料率に影響がないように感じる。

【事務局】

段階的に導入されている途中であるため、今回は恩恵を受けられる支部の中に入っても料率に大きな影響はない。また、保険料率の計算の段階においての四捨五入の関係で料率に全く影響がないことも想定される。

【学識経験者】

協会けんぽの健診には、有効性が疑われているがん検診は含まれているのか。

【事務局】

協会けんぽの生活習慣病予防健診には、国が推奨している「胃がん検診」「子宮頸がん検診」「肺がん検診」「乳がん検診」「大腸がん検診」の 5 種類のみが含まれている。